



Hewlett Packard
Enterprise

HPE OneView Global Dashboard 1.1 ユーザーガイド

摘要

このユーザーガイドは、HPE OneView Global Dashboard のグラフィカルユーザーインターフェイスを使用して、コンバージドインフラストラクチャ環境で IT ハードウェアを管理している管理者を対象としています。

部品番号: 877861-191
発行: 2017 年 3 月
版数: 1

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューター・ソフトウェア、コンピューター・ソフトウェア資料、および商業用製品の技術情報は、ベンダー標準の商業用ライセンスのもとで米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外にある情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Microsoft[®]、Windows[®]、Windows Server[®]、および Hyper-V[®]は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

VMware[®]は、VMware, Inc.の米国および各国での登録商標です。

目次

はじめに	5
HPE OneView Global Dashboard について.....	5
アプライアンス VM およびホストの要件.....	5
サポートされる Web ブラウザー.....	5
ネットワーク.....	6
スケール.....	6
画面解像度.....	6
HPE OneView について.....	6
ハイパーバイザーホストへの Global Dashboard のインストール	7
Global Dashboard アプライアンスファイルのダウンロード及び信頼性の確認.....	7
VMware vSphere ハイパーバイザーホストへの Global Dashboard のインストール.....	8
OVA ファイルのダウンロード.....	8
OVA ファイルの展開.....	8
Hyper-V ホストへの Global Dashboard 仮想アプライアンスのインストール.....	9
Hyper-V zip ファイルのダウンロード.....	9
Hyper-V zip ファイルの展開.....	9
Global Dashboard の初期セットアップ	11
Global Dashboard の起動とログイン.....	11
ネットワークの設定の構成.....	11
アプライアンスの追加.....	12
Global Dashboard のユーザーインターフェイスの操作	13
アイコンの凡例.....	13
Global Dashboard のカスタマイズ.....	15
ユーザーの管理	16
ユーザーの役割.....	16
ユーザーの追加.....	17
ローカルユーザーの削除.....	17
ローカルユーザーのパスワードの変更.....	17
認証ディレクトリサービスの追加.....	17
アプライアンスのヘルスとパフォーマンスの監視	19
Dashboard ページ.....	19
Activity ページ.....	19
レポートページ.....	20
ファームウェアの適合.....	20
サーバーインベントリ.....	20
サーバープロファイルテンプレート使用率レポート.....	21
SPP バンドルレポート.....	22
仮想 ID 競合レポート.....	22

トラブルシューティング	23
アプライアンスを Global Dashboard に追加できない.....	23
Global Dashboard で、アプライアンスのステータスがオフラインである	24
Global Dashboard で、アプライアンスの再接続が失敗した.....	25
Global Dashboard からアプライアンスへのシングルサインオン（SSO）が失敗した.....	25
 Web サイト	 27
 サポートと他のリソース	 28
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	28
アップデートへのアクセス.....	28
カスタマーセルフリペア（CSR）	29
リモートサポート（HPE 通報サービス）	29
保証情報.....	29
規定に関する情報.....	29
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	30

はじめに

HPE OneView Global Dashboard について

HPE OneView Global Dashboard は、HPE BladeSystem c7000 エンクロージャー、HPE ProLiant DL シリーズブラックマウントサーバー、HPE Synergy、HPE Apollo 2000、4000、6000、および HPE Hyper Converged 380 システムが組み込まれた複数のアプライアンスとデータセンターサイトにまたがって、HPE OneView が管理するヘルス、アラート、および重要なリソースの統一されたビューを提供します。

Global Dashboard は、リソースの変更がアプライアンスで発生すると、その情報をリアルタイムに表示します。すべてのリソースの完全な更新は、デフォルトでは 12 時間ごとに行われます。(HC380 では、リアルタイムの更新は行われません。データは 1 時間ごとに自動的にポーリングされ、ユーザーは、必要に応じて更新を開始できます。)

アプライアンス VM およびホストの要件

HPE OneView Global Dashboard は、以下のサポートされるハイパーバイザーホスト上で動作する仮想アプライアンスです。

表 1: サポートされるハイパーバイザーとバージョン

ハイパーバイザー	バージョン
VMware vSphere ESXi	<ul style="list-style-type: none">• 5.5• 5.5 Update 1• 5.5 Update 2• 5.5 Update 3• 6.0• 6.0 Update 1• 6.0 Update 2
Microsoft Hyper-V	<p>Hyper-V は、Hyper-V の役割がインストールされている次の Microsoft Windows プラットフォームでサポートされます。</p> <ul style="list-style-type: none">• Windows Server 2012• Windows Server 2012 R2• Windows Hyper-V Server 2012• Windows Hyper-V Server 2012 R2

アプライアンスの仮想マシン (VM) は ProLiant G7 クラス以降の CPU を搭載した VM ホスト上で実行する必要があります。アプライアンス VM は次を必要とします。

- 2 GHz 以上の仮想 CPU 2 個。
- アプライアンス専用の 10 GB のメモリ。
- シックプロビジョニングされた 160 GB のディスク容量。
- 管理 LAN への接続。管理用とデータ用のネットワークを分離することをお勧めします。

サポートされる Web ブラウザー

以下の Web ブラウザーは、HPE OneView Global Dashboard で使用するためにテストされ、適格とされました。

- Microsoft Internet Explorer バージョン 11
- Mozilla Firefox バージョン 45

- Mozilla Firefox ESR（延長サポート版）バージョン 45.x
- Google Chrome バージョン 50.x

注記: Global Dashboard で表示される測定単位は、ご使用のブラウザの言語設定で決定されます。メートル単位は、米国を除くすべての地域で使用されます。

ネットワーク

- 最小帯域幅：1.5 Mbps
- 最大ネットワーク遅延時間：350 ms

Global Dashboard が HPE OneView と通信できるように、次のポートは開いている必要があります。

- HTTP ポート 80
- HTTPS ポート 443
- SCMB ポート 5671

スケール

表 2: アプライアンスの構成の上限

	最大
HPE OneView アプライアンス/HPE Synergy コンポーザー	20
HC380 システム	50
同時使用ユーザー数	5
グループ数	3,000
グループごとのリソース数	20,000

画面解像度

- 最小解像度：1024 x 768
- 推奨の解像度：1280 x 1024 以上

HPE OneView について

HPE OneView は、Converged Infrastructure 環境用に設計された統合プラットフォームであり、アプライアンスとしてパッケージ化されています。HPE OneView により、物理インフラストラクチャのライフサイクル全体を管理する Software Defined アプローチを実現します。

詳細情報

HPE OneView ドキュメント：[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#)

ハイパーバイザーホストへの Global Dashboard のインストール

Global Dashboard は次の形式で提供されます。

ハイパーバイザーホスト	形式
VMware vSphere ハイパーバイザー	<p>オープン仮想化フォーマットパッケージが含まれるオープン仮想アプライアンス (OVA) ファイルとしてパッケージ化されたものです。</p> <p>OVA の展開には、以下のいずれかを用いることができます。</p> <ul style="list-style-type: none">• ホストシステムにインストールされた VMware vSphere クライアント (Microsoft Windows アプリケーション) または vSphere Web クライアント• コマンドラインインターフェイス (CLI)• REST API <p>このガイドでは、ホストシステムにインストールされた VMware vSphere クライアント (Microsoft Windows アプリケーション) または vSphere Web クライアントを使用して OVA を展開する方法を説明します。このガイドを利用した OVA ファイルの展開には、以下が必要となります。</p> <ol style="list-style-type: none">1. ホストシステムにインストールされた VMware vSphere クライアント (Microsoft Windows アプリケーション) または vSphere Web クライアント。2. Global Dashboard をインストールするための VMware vCenter サーバーへのアクセス権限。
Microsoft Hyper-V ハイパーバイザー	<p>イメージ zip ファイルとしてパッケージ化されたもの。</p> <p>この.zip ファイルを使用して Global Dashboard をインストールするには、Windows Server に Hyper-V の役割がインストールされている必要があります。</p>

Global Dashboard アプライアンスファイルのダウンロード及び信頼性の確認

HPE OneView Global Dashboard アプライアンスのファイルを **HPE Software Depot** からダウンロードできます。ご使用のブラウザが、信頼済みのセキュリティ証明書を使用して HTTPS 接続を行うため、ダウンロードは安全です。

さらに、無償の GNU プライバシーガード (GPG) ツールを使用して、ファイルの信頼性および整合性を検証できます。

- `gpg --verify <filename>.ova.sig <filename>.ova`
- `gpg --verify <filename>.zip.sig <filename>.zip`

注記: このデジタル署名の確認手順は、アップグレードのインストールには必要ありません。アップグレードファイル (*.bin ファイル) がすでにデジタル署名されており、デジタル署名はアップグレード手順の間に自動的に検証されます。

検証手順について詳しくは、Web ページ (<http://www.hpe.com/downloads/codeverify>) を参照してください。

VMware vSphere ハイパーバイザーホストへの Global Dashboard のインストール

OVA ファイルのダウンロード

OVA ファイルのサイズは約 2.2 GB です。ダウンロード時間はネットワーク接続によって異なります。HPE Software Depot が提供するダウンロードマネージャーなど、ダウンロードの再開をサポートするダウンロードマネージャーを使用することをお勧めします。

手順

1. Web ブラウザーを開きます。
2. **HPE Software Depot** に移動して、**Converged Infrastructure Management Software > OneView Management Software > HPE OneView Global Dashboard** を選択します。HPE Software Depot のアカウントがある場合、ファイルをダウンロードする前にログインする必要があります。登録されていない場合、登録を求めるメッセージが表示されます。
3. OVA ファイルをローカルディレクトリにダウンロードします。vSphere クライアントが実行されているシステムにローカルディレクトリが配置されているか、Web アドレスを使用してローカルディレクトリにアクセスできる必要があります。

注記: OVA ファイルは電子的に署名されています。<http://www.hpe.com/downloads/codeverify> の手順に従って、ダウンロードの信頼性と完全性を検証するオプションがあります。

OVA ファイルの展開

手順

1. vSphere クライアントを起動し、vCenter にログインします。
2. メニューから、**ファイル > OVF テンプレートのデプロイ**を選択し、**OVF テンプレートのデプロイウィザード**を起動します。
 - a. ソース画面で、以下のいずれかの情報を指定します。
 - OVA ファイルへのパス
 - OVA ファイルの Web アドレス (URL) (Web サーバー経由でこのファイルにアクセスできるようにしている場合)
 - b. **OVF テンプレートの詳細画面**の情報を確認します。
 - c. **名前と場所**画面で、インベントリフォルダー内で一意である、展開されたテンプレートの名前と場所を入力し、インベントリ場所を選択します。
 - d. **ホスト/クラスタ**画面で、展開されたテンプレートを実行するホストまたはクラスタを選択します。
 - e. **ストレージ**画面で、VM ファイルの保存先を選択します。
 - f. **ディスクのフォーマット**画面で、仮想ディスクの保管形式を選択します。

❗ **重要:**
シックプロビジョニングを選択することを強くお勧めします。シンプロビジョニングを選択した場合、VM ホストでディスク容量が不足した場合にアプライアンス VM が一時停止されるためです。アクション中にこのような事象が発生した場合は、診断が困難な障害となる可能性があり、解決するにはサービスコールが必要となる場合があります。

また、**Eager Zeroed** を選択されることをお勧めします。

- g. ネットワークのマッピング画面で、管理 LAN に接続できるネットワークを選択します。
- h. 終了準備の完了画面で、選択したオプションを確認します。必要に応じて、戻るボタンを使用して変更を加えます。終了をクリックし、テンプレートを完了して、展開を開始します。展開が完了すると、VM を使用できます。

注記: ハイパーバイザーホストを使用して時刻を設定することを計画している場合は、ホストが NTP サービスを使うように構成してください。

3. サマリタブで、パワーオンをクリックします。コンソールタブをクリックし、アプライアンスの開始を監視します。

アプライアンスの電源が入れられてからブラウザー接続を受け入れるための準備ができるまで、ハードウェアによっては約 10 分かかります。この間、vSphere 仮想コンソールには、「Please wait while the appliance starts」というメッセージが表示されます。

Hyper-V ホストへの Global Dashboard 仮想アプライアンスのインストール

Hyper-V zip ファイルのダウンロード

物理メディアに Hyper-V zip ファイルがない場合、Software Depot から Hyper-V zip ファイルをダウンロードします。zip ファイルは約 2.2 GB です。ダウンロード時間はネットワーク接続によって異なります。Software Depot が提供するダウンロードマネージャーなど、ダウンロードの再開をサポートするダウンロードマネージャーを使用することをお勧めします。

手順

1. ハイパーバイザークライアントが実行されているシステムでブラウザーを開きます。
2. **HPE Software Depot** に移動して、**Converged Infrastructure Management Software > OneView Management Software > HPE OneView Global Dashboard** を選択します。HPE Software Depot のアカウントがある場合、ファイルをダウンロードする前にログインする必要があります。登録されていない場合、登録を求めるメッセージが表示されます。
3. zip ファイルをローカルディレクトリにダウンロードします。

注記: zip ファイルは電子的に署名されています。信頼性と整合性は、<http://www.hpe.com/downloads/codeverify> にある手順に従いお客様で検証いただくことも可能です。

Hyper-V zip ファイルの展開

手順

1. Hyper-V ホストからアクセスできる場所に Hyper-V イメージの zip ファイルを抽出します。
2. Hyper-V マネージャーを起動します。Hyper-V ホストを右クリックし、**仮想マシンのインポート**を選択します。
3. 仮想マシンのインポートウィザードで、Hyper-V イメージ zip ファイルの解凍場所に移動し、Snapshots、Virtual Hard Disks、および Virtual Machines という名前のディレクトリを見つけます。この 3 つのディレクトリの親ディレクトリを選択します。
4. ウィザードの手順を進めて、アプライアンス仮想マシンをインポートします。

❗ **重要:**
仮想マシンをコピーする (新しい一意な ID を作成する) オプションを必ず選択してください。

5. ホスト要件を満たすように VM が構成されていることを確認し、シックプロビジョニングをセットアップして、VM ホストのネットワークアダプターをセットアップします。

VM の設定を編集する場合は、アプライアンス VM を右クリックし、**設定**を選択します。

- **アプライアンス VM およびホストの要件について** : [アプライアンス VM およびホストの要件\(5 ページ\)](#) を参照してください。
- **シックプロビジョニング** : VM のインポート後は、Hyper-V で固定サイズのディスクを使用します。**設定**を選択し、仮想ハードディスクを選択します。現在のディスクを編集し、**変換**を選択し、**容量固定**を選択します。VM ハードディスクのサイズを、作成した新しい固定サイズのディスクに変更します。

❗ **重要:**
シックプロビジョニングが必須なのは、シンプロビジョニングを選択すると、VM ホストでディスク容量が不足した場合にアプライアンス VM が一時停止されるためです。ファームウェアのアップグレード、プロファイルの適用、アプライアンスアップデートのバックアップの実行など、何らかの処理を実行している間にこの状態が発生した場合、診断が困難な障害が発生する可能性があります。解決するのにサービスコールが必要になる場合があります。

- **ネットワークアダプターについて** : ハイパーバイザーの UI を使用して、VM ネットワークアダプターを設定します。アプライアンスは、管理 LAN 上で 1 つの NIC をサポートします。通常、ネットワーク構成に応じて、ネットワークアダプターを 1 つ以上の仮想スイッチに接続します。

❗ **重要:**
VLAN と VLAN 識別子を使用しない場合には、VLAN ID ボックスのチェックを必ず外してください。

6. 仮想アプライアンスの電源を入れる前に、VM ホストシステムの日時が正しく設定されていることを確認します。VM ゲストは VM ホストシステムの時刻と同期するため、VM ホストシステムでは、NTP などのツールを使用して正確な時刻を維持してください。VM ホストの時間が適切に設定されていない場合は、アプライアンスの起動時に以下のメッセージが表示されます。

```
The time and date on your hypervisor appears to be incorrect. Please power off your appliance, correct the time and date on your hypervisor, and power on your appliance.
```

この問題が発生した場合は、メッセージの指示に従ってください。

7. 仮想マシンの電源を初めてオンにします。Hyper-V Manager で、アプライアンス VM を右クリックし、電源を入れます。アプライアンスの電源が入れられてからブラウザー接続を受け入れるための準備ができるまで、ハードウェアによっては約 10 分かかります。
8. コンソールにアプライアンスのライセンスおよびサポートの画面が表示されます。これで、初めてアプライアンスにログインできます。

Global Dashboard の初期セットアップ

手順

1. Global Dashboard を起動します。
2. ネットワーク設定を構成します。
3. アプライアンスを追加します。
4. ユーザーを追加します。

Global Dashboard の起動とログイン

始める前に

Global Dashboard がハイパーバイザーホストにインストールされている必要があります。

手順

1. 以下のいずれかの方法を使用して HPE OneView Global Dashboard を展開したホストにアクセスします。
 - **VMware コンソール** : VMware コンソールでブラウザーを使用して、VM に接続します。
 - **Web ブラウザー** : VM が、DHCP を持つネットワーク上にある場合、ご使用のローカルマシン上のブラウザーでアドレスバーに DHCP の IP アドレスを入力して、VM に接続します。サポートされるブラウザーの一覧については、[サポートされる Web ブラウザー](#)(5 ページ)を参照してください。

最初に HPE OneView Global Dashboard が起動したときは、システムの構成が可能になるまでに最大で 10 分かかる場合があります。ダッシュボードの構成の準備が整うまで、画面に次のメッセージが表示されません。

HPE OneView Global Dashboard



2. **HPE OneView Global Dashboard EULA** ページでエンドユーザー使用許諾契約書を確認し、**Agree** をクリックして続行します。**同意しない** (Disagree) をクリックすると、インストールプロセスがキャンセルされます。
3. 初めてダッシュボードを構成する場合は、管理者としてローカルドメインにログインする必要があります。初回のセットアップ後は、さらにローカルユーザーを追加したり、認証ディレクトリサービスからユーザーを追加したりできます。

初回時は、次のデフォルトの認証情報を使用してログインします。

- ユーザー名 : Administrator
 - パスワード : admin
 - ログインドメイン : LOCAL
4. プロンプトが表示されたら、8 文字以上の新しい管理者パスワードを設定して、デフォルトのパスワードを置き換えます。パスワードには、スペースまたは文字 < > ; , " ' & \ / | + : = のいずれも使用しないでください。

ネットワークの設定の構成

Infrastructure Administrator の役割を持つ Global Dashboard ユーザーだけが、Global Dashboard にアプライアンスを追加できます。


手順

1. 左側のナビゲーションメニューで、**Settings** を選択してから、Settings ページで **Network Settings** を選択します。
2. Global Dashboard の **Host Name** を指定します。
3. **IPv4** で、**DHCP** または **Static** を選択します。
Static を選択した場合は、**IPv4 address**、**IPv4 Subnet**、および **IPv4 Gateway address** を入力します。
4. **DNS** で、**From DHCP** または **Manually** を選択します。
Manually を選択した場合、オプションとして、**Preferred DNS server** および **Alternate DNS server** の IP アドレスを指定できます。
5. **OK** をクリックします。

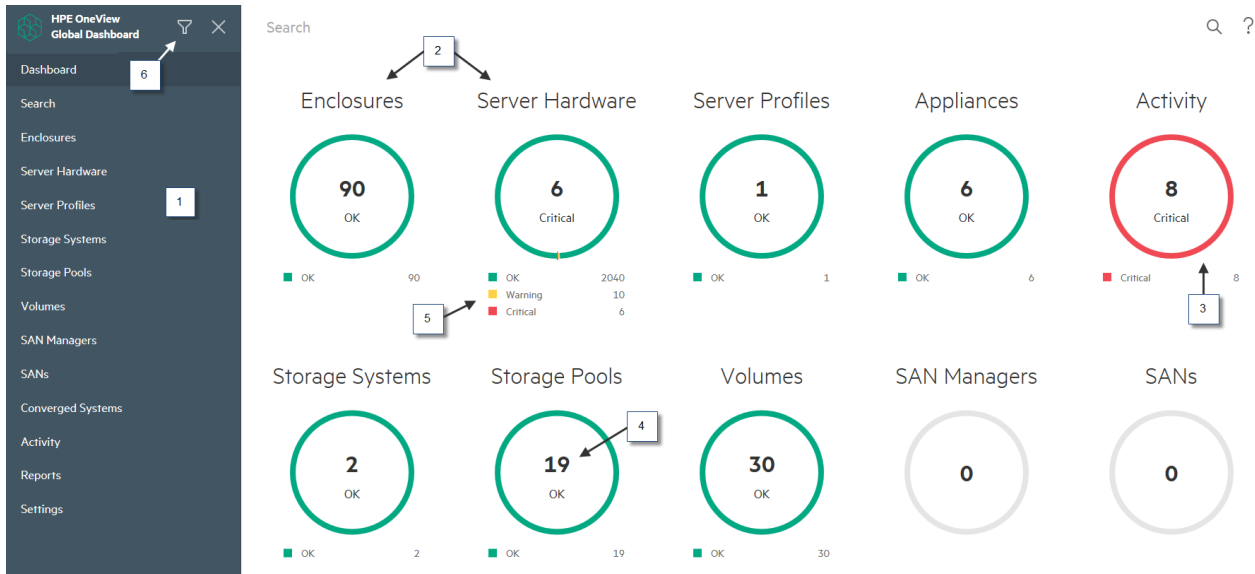
アプライアンスの追加



Infrastructure Administrator の役割を持つ Global Dashboard ユーザーだけが、Global Dashboard にアプライアンスを追加できます。

手順

1. 左側のナビゲーションメニューで、**Settings** を選択してから、Settings ページで **Appliances** を選択します。
2. Appliances ページで、追加アイコン  をクリックします。
3. 以下の情報を指定します。
 - ホスト名または IP アドレス：アプライアンスの IP アドレスを指定します。HC380 を追加する場合、HC380 上の HPE OneView インスタンスではなく、HC380 管理 UI のアドレスを指定します。
 - ユーザー名：アプライアンスの有効なユーザー名を指定します。HC380 を追加する場合、HC380 上の HPE OneView インスタンスではなく、HC380 管理 UI のユーザー名を指定します。
 - HPE OneView アプライアンスを追加する場合、バックアップ管理者の役割を持つユーザーが指定されると、リアルタイムでの更新および SSO（シングルサインオン）は機能しません。
 - ディレクトリ認証を使用して HC380 を追加する場合、Infrastructure Administrator または読み込み専用のアカウントを使用する必要があります。仮想化管理者または仮想化ユーザーのアカウントを使用することはできません。
 - パスワード：ユーザー名に関連したパスワードを指定します。
 - ドメインにログインする。
 - 名前：（オプション）アプライアンスの名前を入力します。使用できる文字は、a-z、A-Z、0-9、'!'、'!', '!', および '-' です。空欄の場合、フィールドにはホスト名が入力されます。
 - アプライアンスへの接続時に証明書を無視する。リモートのアプライアンスへの接続が証明書エラーのため失敗する場合は、このオプションを有効にします。
4. **追加** をクリックします。

Global Dashboard のユーザーインターフェイスの操作





1	<p>左側のナビゲーションメニュー： アイコンをクリックすると、メニューを閉じます。 アイコンをクリックすると、メニューを再度開きます。</p>
2	リソース名：クリックすると、Global Dashboard のリソースページに移動します。
3	ドーナツグラフ：リソースカテゴリに 2 つ以上のステータスの状態が含まれる場合、その状態は別の色で表現されます。選択したグラフの上にマウスカーソルを重ねると、そのグラフが太くなります。ドーナツグラフ上のステータスの色をクリックすると、選択されたステータスの状態のリソースを表示するリソースページ（フィルターが適用されたビュー）に移動します。
4	選択したドーナツグラフの警告の合計：選択したリソースのすべてのアプライアンスでの警告の合計数です。クリックすると、選択されたステータスの状態のリソースを表示するリソースページ（フィルターが適用されたビュー）に移動します。
5	リソースの概要 カテゴリ内のリソースのすべてのステータスの状態を一覧表示します。ステータスの状態をクリックすると、選択されたステータスの状態のリソースのみを表示する Global Dashboard のリソースページ（フィルターが適用されたビュー）に移動します。
6	グローバルフィルター：グローバルフィルターを使用すると、Global Dashboard を制限して、特定のグループまたはサブグループのリソースのみを表示できます。

アイコンの凡例

次のアイコンは、Global Dashboard の各ページに表示されます。

表 3: アイコンの凡例

画面の要素	機能
	クリックして検索します。
	クリックして、ページに表示するフィルターを選択します。リソースの合計数がアイコンの上部に表示されます。フィルターが選択されると、アイコンは緑色に変わり、フィルターが適用されたリソースの数がアイコンの下に表示されます。
	クリックすると、レポートデータを CSV 形式でエクスポートできます。
	クリックすると、オンラインヘルプが開きます。
	クリックすると、グループに関連した操作のアクションメニューが開きます。
	クリックして、現在のページに情報を追加します。
	クリックすると、メニューまたはウィンドウが閉じます。
	リソースのステータスはクリティカルです。
	リソースのステータスは警告です。
	リソースのステータスは無効です。
	リソースのステータスは OK です。
	リソースのステータスは不明です。  アイコンは、HPE HC380 システムのコンバージドシステムの下の詳細ページにも表示されます。
	このアイコンは、プロセスの実行中に一時的に表示されます。表示されるのは、Global Dashboard にログインしているとき、または Global Dashboard がディレクトリに接続しているときや、選択されたアプライアンスやリソースの情報と同期を取っているときなどです。プロセスが完了すると、このアイコンはステータスアイコンに変わります。
	ユーザーの役割を指定します。クリックして、ログアウトするか、ユーザー情報を表示します。
	クリックすると、アプライアンスのすべてのログが収集され、1つの .tar.gz ファイルとしてダウンロードできます。
	クリックすると、Global Dashboard からすべてのデータを削除して、工場出荷時設定に戻します。 工場出荷時へのリセットは、すべてのデータ、ログ、および管理対象デバイスの設定を含むシステム上の設定を消去する破壊的な操作です。リセット操作中は、REST API 呼び出しおよび GUI 操作は禁じられています。

表は続く

画面の要素	機能
	クリックすると、Global Dashboard とアプライアンスまたはリソース間の接続をテストします。
	クリックすると、Global Dashboard を更新します。
	アプライアンスを再起動します。
	Set log level アイコンをクリックすると、アプライアンスにログインするときのレベルを選択できます。 normal と verbose の中から選択します。
	HPE support access アイコンをクリックすると、認証されたサービスのアクセス権限のオン/オフを切り替えます。
	global filter アイコンをクリックすると、Global Dashboard は特定のグループまたはサブグループのリソースに関する情報に絞って表示できます。

Global Dashboard のカスタマイズ

手順

1. 左側のナビゲーションメニューで、**Settings** を選択してから、Settings ページで **Dashboard Customization** を選択します。

Customize view

Click on the items below to show or hide in the dashboard main page and the navigation pane. Clicking OK will save these settings for the "LOCAL/user" user.

- Enclosures
- Server Hardware
- Server Profiles
- Appliances
- Storage Systems
- Storage Pools
- Volumes
- SAN Managers
- SANs
- Converged Systems
- Activity
- Reports

OK

2. 表示または非表示にする項目を有効または無効にします。項目を無効にすると、左側のナビゲーションメニューおよび Dashboard ページからその項目を削除します。
3. OK をクリックします。

ユーザーの管理

ユーザーの役割

Global Dashboard では、Infrastructure Administrator とオペレーターの 2 つのユーザーの役割をサポートしています。ローカルユーザーのアカウントは、Infrastructure Administrator またはオペレーターのロールに割り当てることができます。ディレクトリサービスを使用して認証されたアカウントは、常にオペレーターの役割に割り当てられます。

以下のタスクは、それぞれのユーザーの役割でサポートされます。

Infrastructure Administrator	オペレーター	タスク
○		初期セットアップを実行する。
○		ネットワーク設定を構成または変更する。
○		アプライアンス、ユーザー、およびディレクトリサーバーを追加、変更、および削除する。
○		アプライアンスを再接続する。
○	○	アプライアンス全体のリソース情報を表示する。
○	○	リンクを介してアプライアンスにアクセスする。(アプライアンスへのアクセス権がすでに付与されている必要があります。)
○	○	自身のパスワードを変更する。
○	○	HPE OneView への SSO (シングルサインオン)。
○	○	レポートを表示およびダウンロードします。
○		ログレベルを設定する。
○		HPE サポートへのアクセス権限を設定する。
○		ソフトウェアを更新する。
○	○	Ping を実行する。
○		ログをダウンロードする
○		Global Dashboard を再起動する。
○		工場出荷時に Global Dashboard をリセットする。
○	○	現在の証明書を表示する。

表は続く

Infrastructure Administrator	オペレーター	タスク
○		証明書要求を作成する。
○		ユーザー署名済み証明書をインポートする。

ユーザーの追加

手順

1. **Users** ページで、追加アイコン⁺をクリックします。
2. ユーザー名とパスワードを入力します。このユーザーの SSO（シングルサインオン）を有効にするには、リモートの HPE OneView インスタンスのログインに使用したのと同じユーザー名とパスワードを入力します。
3. パスワードを再入力して、パスワードを確認します。
4. ユーザーの役割 **Infrastructure administrator** または **Operator** を選択します。
5. **追加** をクリックします。

ローカルユーザーの削除

手順

1. **Users** ページで、削除するユーザー名をクリックします。
2. 右側に表示される詳細ページで、**Remove User** をクリックします。
3. **OK** をクリックして、削除を確認します。

ユーザーを削除する場合、ユーザーがログアウトするまで、そのセッションはアクティブのままです。

ローカルユーザーのパスワードの変更

現在ログインしているユーザーアカウントのパスワードのみを変更できます。



手順

1. **Users** ページで、ユーザー名をクリックします。
2. 右側に表示される詳細ページで、**Change password** をクリックします。
3. 現在のパスワードを入力します。
4. 新しいパスワードを入力します。
5. **Confirm Password** フィールドに新しいパスワードをもう一度入力します。
6. **Yes, Change Password** をクリックして、変更を確認します。

認証ディレクトリサービスの追加

手順

1. **Directory** ページで、追加アイコン⁺をクリックします。
2. **OpenLDAP** または **Active Directory** を選択します。
3. ディレクトリサーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。
4. ディレクトリサーバーのポートを確認するか、または新しいポートを入力します。

-
- ❗ **重要:**
グローバルカタログを検索するかドメインを検索するかの決定は、検索範囲がベースになります。
- 検索範囲がドメインか組織単位の場合は、SSL ポートを使用します。デフォルトは 636 です。
 - 検索範囲がフォレストの場合は、SSL グローバルカタログポートを使用します。デフォルトは 3269 です。
-
5. **Connect** をクリックします。
 6. **Certificate** ページで、**Trust** をクリックしてディレクトリサーバー証明書を受け入れるか、**Don't Trust** をクリックしてキャンセルします。
 7. **Directory** ページで、以下の情報を入力します。
LDAP の場合
 - ディレクトリ名
 - ベース識別名：ベース識別名を入力します。たとえば、dc=mydomain,dc=myorg
 - ユーザーネーミング属性 ドロップダウンメニューから UID または CN のいずれかを選択します。
 - OU：個別のフィールドにすべての OU を入力します。例：OU=people,OU=groups
 - グループ名：グループ名を入力します。例：CN=group1,OU=groups**Active Directory の場合**
 - ディレクトリサーバーのホスト名または IP アドレス
 - ディレクトリサーバーポート
 - ベース DN。たとえば、dc=mydomain.dc=myorg
 - グループ名。たとえば、CN=group1,OU=groups
 8. **+** をクリックして、追加グループを追加します。
 9. **確認** をクリックします。
 10. 新しいディレクトリのステータスシンボルは、ディレクトリが正常に追加された場合、緑色  になります。
 11. ステータスシンボルが赤色  の場合、ディレクトリに無効なグループ設定があります。そのディレクトリを編集し、有効な設定のディレクトリを追加します。
 12. **Directory Credentials** ページで、サーバー接続の検証に使用するディレクトリのユーザー名とパスワードを入力します。この情報は Global Dashboard には保存されません。

アプライアンスのヘルスとパフォーマンスの監視

Dashboard ページ

Dashboard ページのグラフを使用すると、すべてのデータセンターのアプライアンスおよび管理対象リソースの全般的なヘルスとステータスが視覚的に表現されます。ダッシュボードはリアルタイムに更新され、アプライアンス上のリソースの変更が反映されるため、注意が必要なリソースをすぐに参照できます。すべてのリソースの完全な更新は、デフォルトでは 12 時間ごとに行われます。(HC380 では、リアルタイムの更新は行われません。データは 1 時間ごとに自動的にポーリングされ、ユーザーは、必要に応じて更新を開始できます。)

各リソースは、リソースのステータスに加えて、同じ状態を共有するリソースの数を表示するドーナツグラフで表現されます。次の色は、ステータスの状態を示します。

色	意味
緑色	ヘルスが良好なステータス
黄色	注意を要する可能性のあるイベントが発生
赤色	ただちに注意を要するクリティカルな状態
灰色	無効または不明なステータス

リソース名をクリックすると、ステータスのすべての状態を表示するようにフィルターを適用した、リソースのページに移動します。

リソース数、ドーナツグラフのいずれか、またはグラフの下のステータスラベルをクリックすると、選択したステータスでフィルターを適用したリソースページに移動します。

Activity ページ

Activity ページを使用すると、データセンター全体のクリティカルなアクティブアラートを監視したり、報告したりできます。


ページの上部にあるテーブルには、アラートの合計数、および特定期間中（今日、過去 7 日、過去 30 日、過去）に発生したアラートの数が表示されます。

注記: Global Dashboard では、クリティカルなアクティブアラートを表示するだけです。HPE OneView でアラートがクリアされると、Global Dashboard には表示されません。

ページの下部にあるテーブルには、クリティカルなアラートに関する以下の情報が表示されます。

- リソース名
- リソースタイプ
- 発生したアラート
- アプライアンス
- モデル
- 状態

- 説明
- 修正アクション

Search または検索アイコン  をクリックし、検索用語を入力すると、特定のアラートのリストを参照できます。


CSV アイコン  をクリックすると、レポート情報を CSV 形式で保存できます。

レポートページ


レポートページを使用すると、データセンター全体から収集されたアプライアンスとリソースに関する情報を表示できます。レポートの情報（仮想 ID 競合レポートを除く）は、CSV 形式でダウンロードできます。


ファームウェアの適合

Firmware Compliance レポートを使用すると、選択した SPP ベースラインに基づく適合および非適合のプロファイルを持つサーバーの一覧をデータセンター全体について参照できます。

表示するベースライン SPP バンドルをドロップダウンメニューから選択するか、検索アイコン  をクリックし、検索用語を入力すると、特定の SPP バンドルのリストを参照できます。SPP バンドルを選択して OK をクリックすると、適合および非適合のリソースの概要ビューと、非適合のリソースを示すテーブルを参照できます。

レポートのタイトルには、レポートの実行対象となった SPP バンドルの名前が含まれています。

デフォルトでは、すべての管理対象サーバーのファームウェア情報が表示されます。**Search** または検索アイコン  をクリックし、検索用語を入力すると、特定のサーバーのリストを参照できます。



CSV アイコン  をクリックすると、ファームウェアのレポート情報を CSV 形式で保存できます。

Firmware Compliance レポートページに、以下の情報が表示されます。

- 適合グラフ：各カテゴリ（適合、非適合、および不明）内のサーバーの数を示します。
- 非適合：適合していないサーバーごとの詳細な情報を示すテーブル。テーブルのタイトルには、全サーバーの内、テーブルに示されているサーバーの数が含まれています。デフォルトでは、すべてのサーバーが表示されます。検索を指定すると、テーブルには検索条件に一致するサーバーのみが表示されます。また、タイトルは掲出された一致の数を示します。たとえば、合計 250 台のサーバーの内、11 台が検出された場合、タイトルは **Noncompliant - 11 of 250** となります。サーバーごとに、以下の情報が表示されます。
 - リソース名：HPE OneView アプライアンスにサーバープロファイルページを開きます。
 - リソースタイプ
 - 状態
 - インストール済み SPP
 - アプライアンス

サーバーインベントリ

Server Inventory レポートには、Global Dashboard によって監視される、データセンター全体の管理対象サーバーの詳細な一覧が表示されます。


デフォルトでは、すべての管理対象サーバーの情報が表示されます。**Search** または検索アイコン  をクリックし、検索用語を入力すると、特定のサーバーのリストを参照できます。CSV アイコン  をクリックすると、サーバーインベントリのレポート情報を CSV 形式で保存できます。


Server Inventory レポートページに、以下の情報が表示されます。

- サーバーのステータス：ステータスの各カテゴリ（クリティカル、警告、OK、および無効）内のサーバーの数を示しています。
- サーバーモデル：モデルタイプごとのサーバーの数を示します。
- ROM バージョン：ROM のバージョンごとのサーバーの数を示します。
- iLO バージョン：HPE iLO のバージョンごとのサーバーの数を示します。
- プロセッサタイプ：プロセッサタイプごとのサーバーの数を示します。
- インストール済みメモリー：取り付けられている各メモリー量のサーバーの数を示します。
- サーバーハードウェア：各サーバーの詳細な情報を示すテーブル。テーブルのタイトルには、全サーバーの内、テーブルに示されているサーバーの数が含まれています。デフォルトでは、すべてのサーバーが表示されます。検索を指定すると、テーブルには検索条件に一致するサーバーのみが表示されます。また、タイトルは掲出された一致の数を示します。たとえば、合計 250 台のサーバーの内、11 台が検出された場合、タイトルは **Server Hardware 11 of 250** となります。サーバーごとに、以下の情報が表示されます。
 - サーバー：アプライアンスの IP アドレス。アドレスをクリックすると、HPE OneView アプライアンスのサーバーのハードウェアページが開きます。
 - モデル
 - プロセッサ
 - プロセッサ カウント
 - メモリ
 - シリアル番号
 - 部品番号
 - iLO
 - iLO FW
 - ファームウェア
 - アプライアンス名

サーバープロファイルテンプレート使用率レポート

Server Profile Template Utilization (SPT) レポートでは、すべての HPE OneView アプライアンスで使用可能な SPT の合計数と、SPT に関する詳細情報が記載されたサブレポートを参照できます。テーブル内のすべての値にはリンクがあります。リンクをクリックすると、さらに詳しい情報が記載されたサブレポートが開きます。

Search または検索アイコン  をクリックし、検索用語を入力すると、特定の SPP のリストを参照できます。

CSV アイコン  をクリックすると、SPT 利用率レポート情報を CSV 形式で保存できます。

アプライアンスごとに、次の情報が表示されます。


- アプライアンス：アプライアンスの名前。
- 利用可能な SPT：関連するサーバープロファイル適合で使用可能なすべてのサーバープロファイルテンプレート。
- 適合の SP
- 非適合の SP
- 関連付けられていない SP
- コンプライアンス：以下のように、すべてのアプライアンスの適合情報をグラフィカル形式で示します。
 - グレー：関連付けられていない SP の数。
 - 緑色：適合した SP の数。
 - 黄：適合していない SP の数。


色の付いたセグメントをクリックすると、詳細情報を参照できます。

SPP バンドルレポート

SPP Bundles レポートは、使用可能な SPP の一覧を表示します。このレポートには、すべてのアプライアンス間で使用可能なすべての SPP バンドルが表示されます。

情報を表示する 1 つまたは複数の SPP バンドルを選択して、**OK** をクリックします。選択した SPP を含むアプライアンスが表示され、さらに選択した SPP から欠落しているアプライアンスの一覧も表示されます。

Search または検索アイコン  をクリックし、検索用語を入力すると、特定の SPP のリストを参照できます。


CSV アイコン  をクリックすると、SPP バンドルのレポート情報を CSV 形式で保存できます。


仮想 ID 競合レポート


Virtual ID Conflict レポートページを使用すると、データセンター間に存在するすべての仮想 ID 競合を表示します。仮想 ID が競合が存在する場合は、以下の情報が表示されます。


- VSN の競合
- VMAC の競合
- VWWN の競合
- IPV4 の競合

競合するアプライアンス名が、次のいずれかのアイコンとともに、競合タイプごとに **Conflicted Appliances** 列に表示されます。


 : 最初の範囲の全体と 2 番目の範囲の最初の部分で重なり合う ID 範囲で競合が発生していることを示しています。


 : 最初の範囲の最後の部分と 2 番目の範囲の最初の部分で重なり合う ID 範囲で競合が発生していることを示しています。


 : 最初の範囲の全体と 2 番目の範囲の中央の部分で重なり合う ID 範囲で競合が発生していることを示しています。


 : 最初の範囲の中央の部分と 2 番目の範囲の全体で重なり合う ID 範囲で競合が発生していることを示しています。

 : 最初の範囲と 2 番目の範囲で重なり合う ID 範囲で競合が発生していることを示しています。

 : 最初の範囲の全体と 2 番目の範囲の最後の部分で重なり合う ID 範囲で競合が発生していることを示しています。

 : 最初の範囲の最後の部分と 2 番目の範囲の全体で重なり合う ID 範囲で競合が発生していることを示しています。

 : 最初の範囲の最後の部分と 2 番目の範囲の最初の部分で重なり合う ID 範囲で競合が発生していることを示しています。

 : 最初の範囲の最初の部分と 2 番目の範囲の最後の部分で重なり合う ID 範囲で競合が発生していることを示しています。

いずれかの列のアプライアンス名をクリックすると、選択したアプライアンスの詳細ペインが開いた状態で、Global Dashboard の **Appliances** ページが開きます。

トラブルシューティング

アプライアンスを Global Dashboard に追加できない

症状

アプライアンスの追加に失敗した。

解決方法 1

原因

Global Dashboard では、アプライアンス証明書を確認できません。

アクション

手順

1. アプライアンスを追加するときに、Global Dashboard の **Ignore certificates when connecting to an appliance** オプションを有効にします。

解決方法 2

原因

ホスト名または IP アドレスが証明書リストにない。

アクション

手順

1. Global Dashboard に追加しようとしていた HPE OneView アプライアンスにログインします。
2. **設定 > セキュリティ**に移動します。
3. 証明書の代替名の IP アドレスとホスト名を調べます。正しくない場合は、**アクション > 自己署名証明書の作成 > 代替名**をクリックして、編集します。
4. Global Dashboard を使用して、もう一度アプライアンスの追加を試みます。

解決方法 3

原因

ホスト名または IP アドレスが証明書リストにない。

アクション

手順

1. Global Dashboard に追加しようとしていた HPE OneView アプライアンスにログインします。
2. **設定 > ネットワーク**を編集します。
3. ネットワークを再設定してから、その設定を適用します。
4. Global Dashboard を使用して、もう一度アプライアンスの追加を試みます。

解決方法 4

原因

ホスト名または IP アドレスが証明書リストにない。

アクション

手順

1. Global Dashboard に追加しようとしていた HPE HC380 にログインします。
2. **Settings > Identity** を編集します。
3. ネットワークを再設定してから、その設定を適用します。
4. 再度 HPE HC380 を追加します。

解決方法 5

原因

証明書がまだ有効ではない。

アクション

手順

- エラーメッセージが表示されたら、HPE OneView または HPE HC380 の証明書が有効な期間を確認します。HPE OneView Global Dashboard の OS システム時刻が有効期間内でない場合、アプライアンスは追加できません。

解決方法 6

原因

サーバー証明書を取得できない。

アクション

手順

- アプライアンスの IP アドレスの有効性を確認して、HPE OneView Global Dashboard がそのアドレスに正常に ping できることを確認します。次に、再度アプライアンスを追加します。

Global Dashboard で、アプライアンスのステータスがオフラインである

症状

Global Dashboard が、アプライアンスにアクセスできないというエラーメッセージを受け取る。

アクション

手順

1. エラーの原因を以下の操作で確認します。
 - a. アプライアンスの IP アドレスまたはホスト名に ping を実行します。
 - b. 電源のオフ/オンを行い、アプライアンスのステータスを確認します。
 - c. アプライアンスのユーザー名またはパスワードが変更されたかどうかを確認します。有効なユーザー名、パスワード、およびログインドメインでアプライアンスに再接続します。

- d. アプライアンスの証明書が有効であることを確認（または検証）します。証明書が変更されている場合は、アプライアンスを削除して再度追加ください。
 - e. アプライアンスの IP アドレスが変更されたかどうかを確認します。IP アドレスが変更されている場合は、アプライアンスを削除してから、新しい IP アドレスで追加します。
2. 上記の確認を行っても、まだエラーが表示される場合は、アプライアンスを削除してから、再度追加します。

Global Dashboard で、アプライアンスの再接続が失敗した

症状

アプライアンスに再接続を試みているときにエラーが発生する。

解決方法 1

原因

無効な引数のエラー。

アクション

手順

1. 次の点を確認してください。
 - ユーザー名とパスワードが正しく入力されていることを確認します。
 - ログインドメインが正しいことを確認します。
 - アプライアンスが使用できること（HPE OneView Global Dashboard がアプライアンスに正常に ping できること）を確認します。
 - アプライアンスの証明書が有効であることを確認します。
2. アプライアンスへの再接続を試みます。
3. それでもまだエラーが表示される場合は、アプライアンスを削除してから、再度追加します。

解決方法 2

原因

再接続時に進行状況バーが停止する。

アクション

手順

- アプライアンスが接続されていることを確認してバーを無視するか、F5 を使用してページを更新するかします。

Global Dashboard からアプライアンスへのシングルサインオン (SSO) が失敗した

解決方法 1

原因

ローカルユーザーがシングルサインオンを使用できない。

注記: HPE HC380 ではシングルサインオンをサポートしていません。

アクション

手順

1. Global Dashboard と HPE OneView で、同じユーザー名とパスワードが定義されていることを確認します。
2. アプライアンスにアクセスできることを確認します。
3. それでも SSO が機能しない場合、Global Dashboard からログアウトし、次に再度ログインしてください。

解決方法 2

原因

ディレクトリユーザーがシングルサインオンを使用できない。

注記: HPE HC380 ではシングルサインオンをサポートしていません。

アクション

手順

1. 同じディレクトリサーバーと同じグループが Global Dashboard と HPE OneView で定義されていること、およびホスト名/IP アドレスが Global Dashboard と HPE OneView で同じであることを確認します。
2. アプライアンスおよびディレクトリサーバーにアクセスできることを確認します。
3. それでも SSO が機能しない場合、Global Dashboard からログアウトし、次に再度ログインしてください。

Web サイト

全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<http://www.hpe.com/info/EIL>

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) ストレージ互換性マトリックス

<http://www.hpe.com/storage/spock>

ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート

<http://www.hpe.com/storage/whitepapers>

Hewlett Packard Enterprise のドキュメントの Web サイト

HPE OneView Global Dashboard のドキュメント

<http://www.hpe.com/info/ovglobaldashboard-docs>

HPE OneView のドキュメント

<http://www.hpe.com/info/oneview/docs>

HPE Synergy のドキュメント

<http://www.hpe.com/info/synergy-docs>

上記以外の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/assistance>

- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- テクニカルサポート登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<http://www.hpe.com/support/downloads>

Software Depot

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

- eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- お客様への権利付与を確認および更新して、契約および保証をプロファイルにリンクするには、次に示す Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>

❗ 重要:

一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品の権利付与情報が必要になる場合があります。関連する権利付与情報を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

カスタマーセルフリペア（CSR）

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア（CSR）プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

リモートサポート（HPE 通報サービス）

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブ ケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE プロアクティブケアサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>（英語）

HPE プロアクティブケアアドバンスドサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecareadvancedsupportedproducts>

保証情報

ご使用の製品の保証を確認するには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターで入手できるサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照します。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

追加保証情報

HPE ProLiant と x86 サーバーおよびオプション

<http://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE エンタープライズサーバー

<http://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<http://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<http://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/environment>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。